

その他の項目

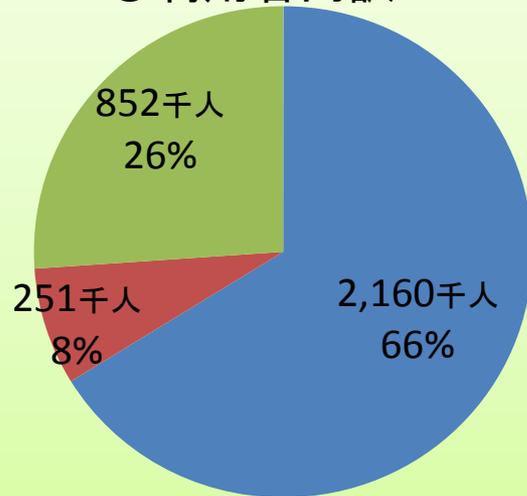
- 「介護施設の重点化」の観点からの検討

サービス類型ごとの利用者数／給付費内訳等

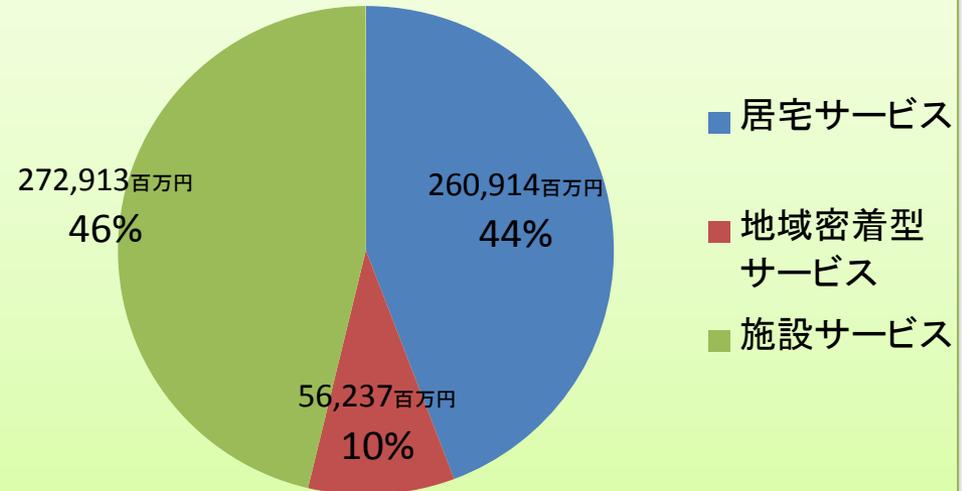
サービス利用者のうち、居宅・地域密着サービスは74%、施設サービスは26%であるが、給付費においては、居宅・地域密着サービスは54%、施設サービスは46%となっている。

利用者・給付費内訳

○利用者内訳

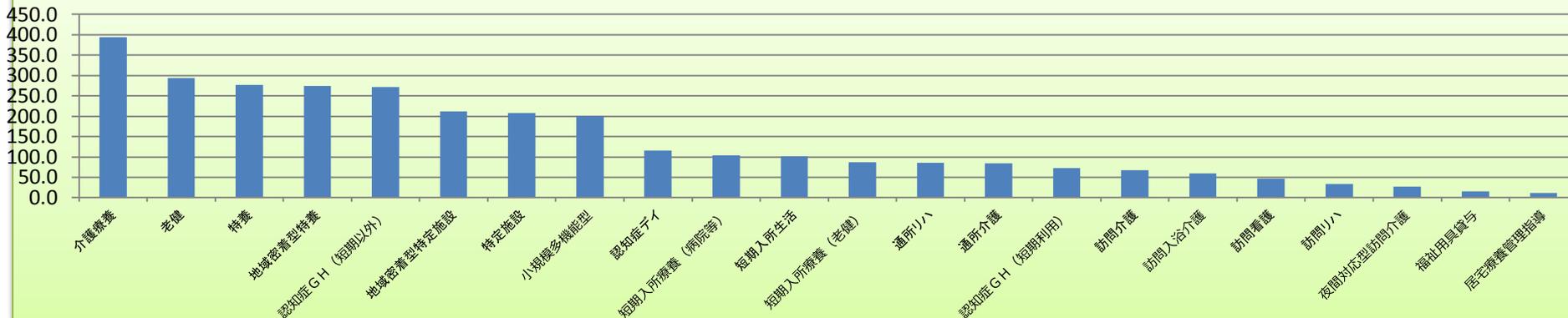


○給付費内訳(補足給付含む)



サービスごとの1人当たり給付費(補足給付含む)

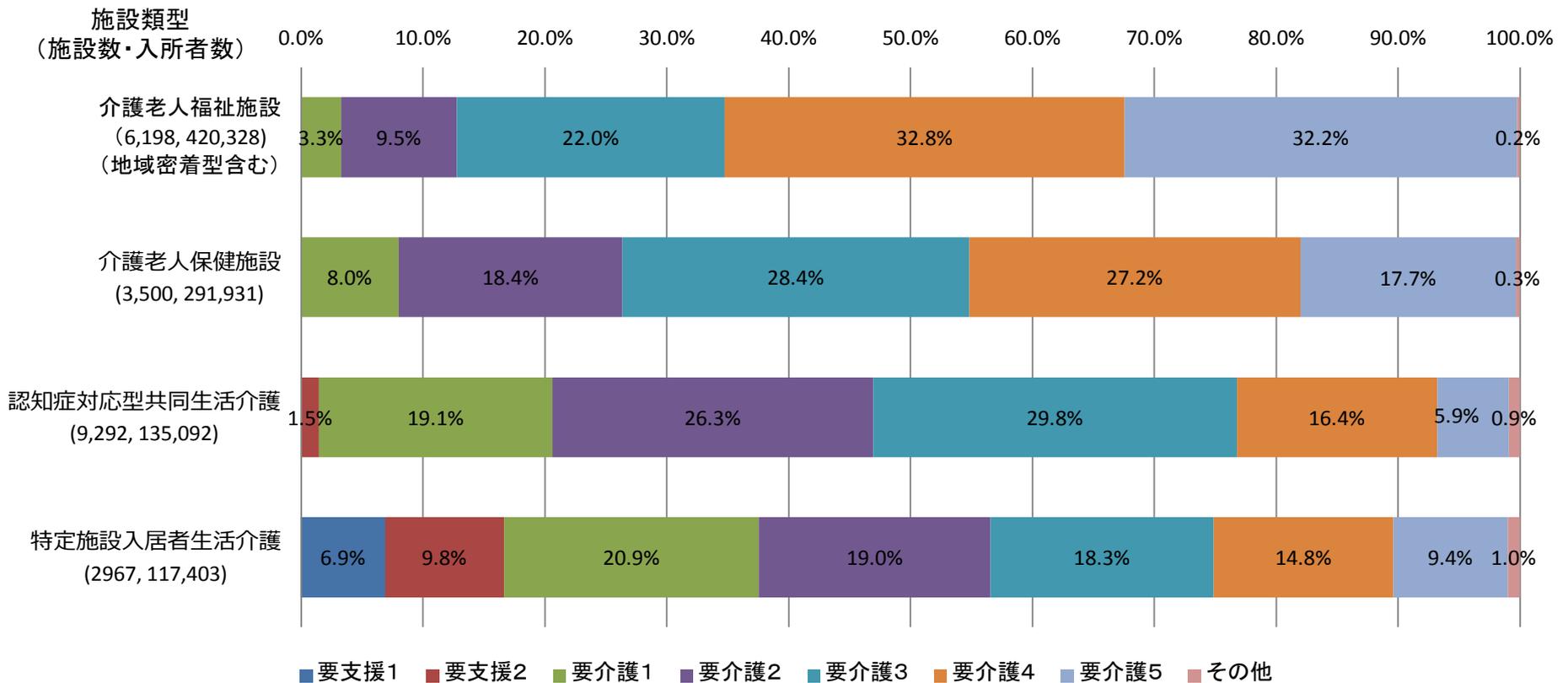
(単位: 千円/人)



要介護度別利用者の構成割合

介護老人福祉施設(特養)で要介護2以下の利用者の割合は13%、介護老人保健施設で要介護2以下の利用者の割合は26%。

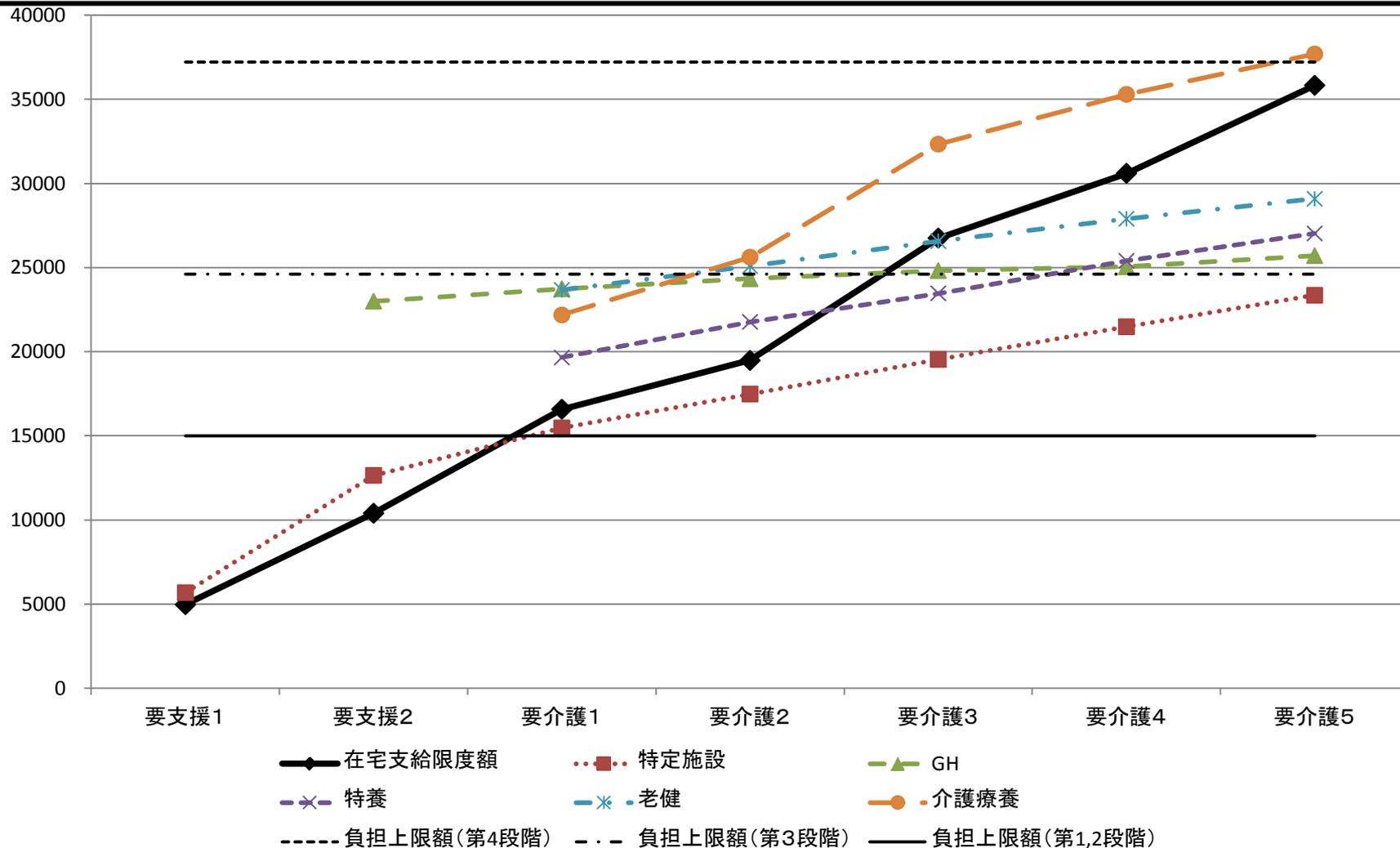
平成20年10月1日



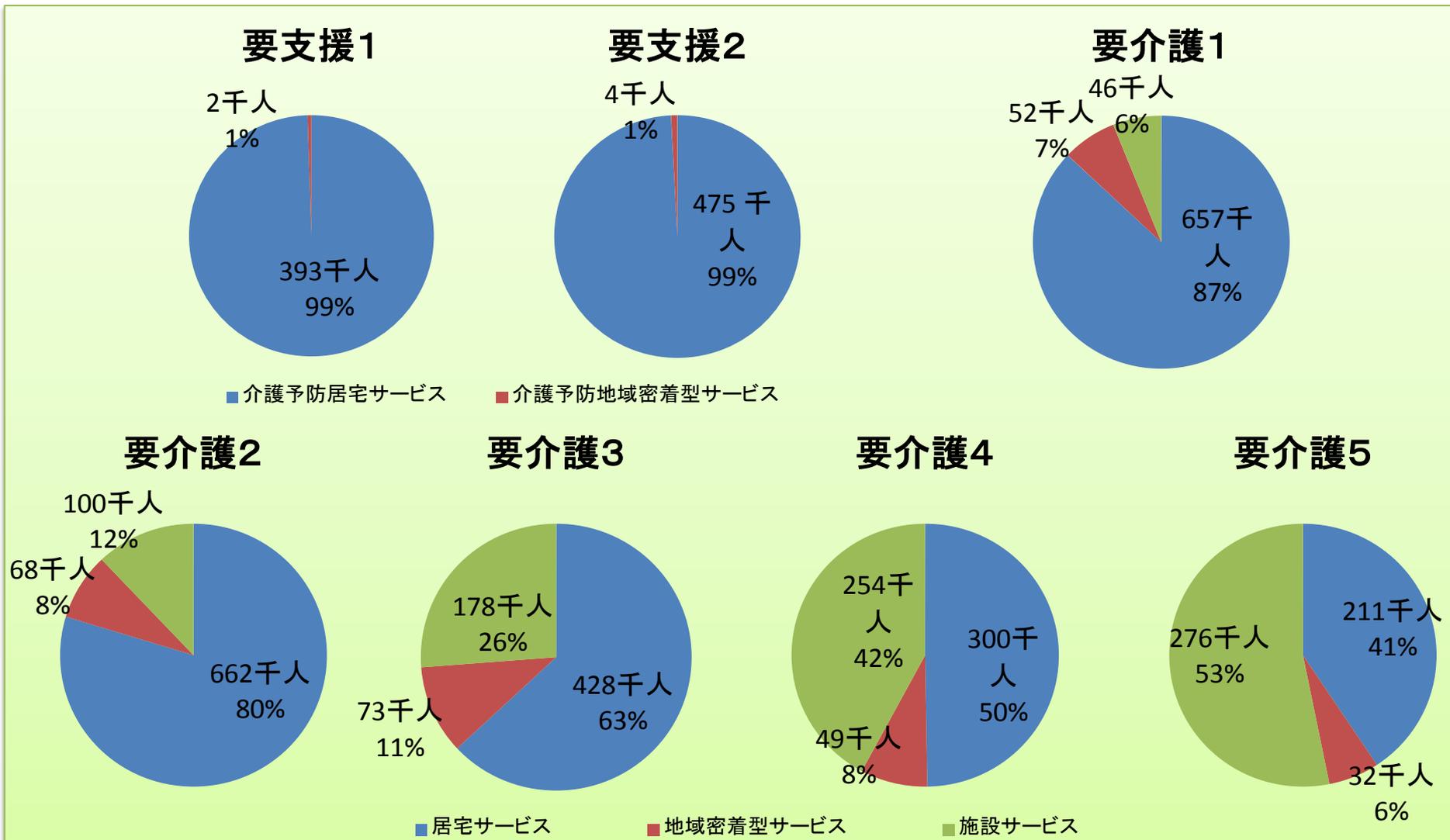
(注) 特別養護老人ホームについては地域密着型介護老人福祉施設、特定施設入居者生活介護については地域密着型特定施設入居者生活介護もそれぞれ含む。

在宅の支給限度額と居住系・施設サービスの平均給付額の比較

○ 要介護1、2については、多くの居住系・施設系サービスの平均給付額が在宅の支給限度額を上回っている。



要介護度別サービス類型ごとの利用者数



出典：厚生労働省「介護給付費実態調査」（平成23年3月審査分）